再評価結果（平成２１年度事業継続箇所）

担　当　課：国道・防災課
担当課長名：深澤　淳志

事業名	一般国道４９４号　佐川～吾桑バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	高知県
起終点	自：高知県高岡郡佐川町川内ヶ谷 至：高知県須崎市吾桑			延長	5.9km

事業概要　一般国道494号は、愛媛県松山市から高知県須崎市へ至る延長約147kmの幹線道路であり、佐川町と須崎市の区間は国道33号と56号を結び、佐川町斗賀野地区住民の日常生活を支える道路である。佐川～吾桑バイパスの現道は幅員狭小区間、線形不良箇所が続いてる。こうした現道状況の改善を目的とした延長5.9kmの事業である。

H6年度事業化	H　年度都市計画決定 （H　　年度変更）	H6年度用地着手	H6年度工事着手

全体事業費	156億円	事業進捗率	55%	供用済延長	1.0km
計画交通量	2,800～3,700台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用	総便益	基準年
	(事業全体) 0.7 (残事業) 1.1	(残事業)/(事業全体) 58 /154億円 事　業　費：57 /152億円 維持管理費：1.5/1.6億円	(残事業)/(事業全体) 62 /111億円 走行時間短縮便益：63 /105億円 走行経費減少便益：-0.48/5.2億円 交通事故減少便益：0.10/0.99億円	平成20年

感度分析の結果　残事業について感度分析を実施
- 交通量変動　：B/C=1.2（交通量+10%）　B/C=1.0（交通量-10%）
- 事業費変動　：B/C=1.0（事業費+10%）　B/C=1.2（事業費-10%）
- 事業期間変動：B/C=1.0（事業期間+10%）　B/C=1.1（事業期間-10%）

事業の効果等
- 国土・地域ネットワークの構築（現道の大型車すれ違い困難区間を解消する）
- 災害への備え（第２次緊急輸送道路に指定）　他9項目に該当

関係する地方公共団体等の意見
- 地域住民の生活を支える国道494号の整備促進を求め国道494号整備促進期成同盟会、また、国道494号佐川吾桑バイパス整備促進協議会（須崎市、佐川町）より要望を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
- 平成14年9月、四国横断自動車道が須崎東ＩＣまで延伸

事業の進捗状況、残事業の内容等
- 現在までに1.0kmを供用している。
- 残事業はトンネルや橋梁を含む未供用区間の整備である。

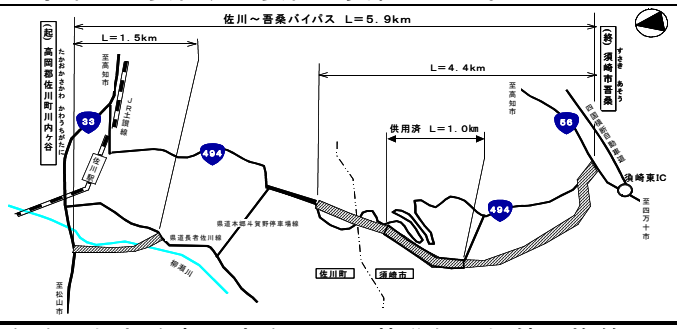
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
- トンネル等の建設費が大きい構造物があり、近年の公共事業費の縮減により事業期間が長期化している。今後は、コスト縮減を図りながら残区間の早期完成を目指す。

施設の構造や工法の変更等
- 幅員縮小、路側擁壁の計画変更及び佐川側事業区間の見直しによりコスト縮減を図った。

対応方針　見直し継続

対応方針決定の理由
- 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらない。

事業概要図



凡　例	
	再評価箇所
	うち供用中

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。